



ひきこもり等子ども・若者相談支援センター
枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議
平成 29 年度の活動報告



枚方市子ども青少年部子ども総合相談センター

となとな



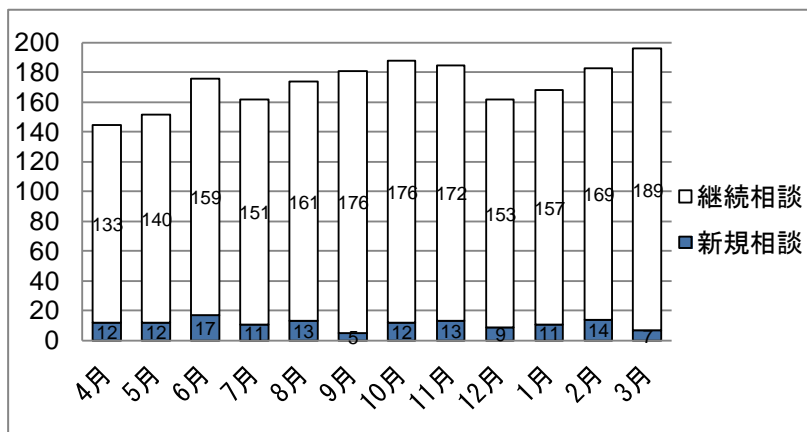
目 次

【1】	ひきこもり等子ども・若者相談支援センター	
1.	平成29年度相談件数	1 p
2.	場所	1 p
3.	相談体制	2 p
4.	相談方法	2 p
5.	相談対象者	2 p
6.	相談内容	5 p
7.	支援内容	6 p
【2】	市民啓発等	
1.	子ども・若者支援のための市民連続講座	9 p
2.	職員による出前講座等	10 p
3.	リーフレットの作成	11 p
【3】	枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議の取り組み	
1.	平成29年の活動状況	12 p
2.	平成29年度ネットワーク会議参加（案内）機関	14 p
3.	全体会議の実施状況	15 p
【4】	枚方市子ども・若者育成計画 改定版	18 p
[資料1]	「ひらぼう」第15報～第20報	
[資料2]	「子ども・若者支援のための市民連続講座」チラシ	
[資料3]	「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」リーフレット	
[資料4]	「枚方市青少年サポートマップ」	
[資料5]	「枚方市青少年サポートブック」	
[資料6]	「枚方市子ども・若者支援地域協議会設置要綱」	

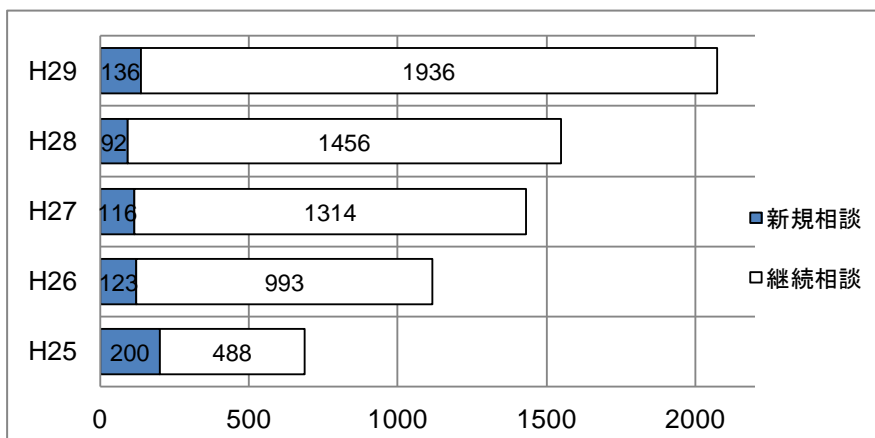
【1】ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

1. 平成 29 年度相談件数

平成 29 年度の実相談ケース数は 248 件でした。そのうち新規相談ケースが 136 件でした。延べ相談件数は 2,072 件でした。



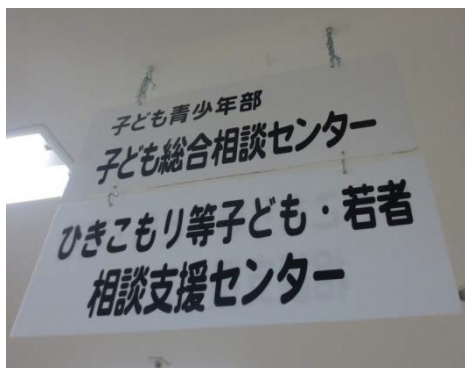
継続相談の積み重ねが延べ相談件数の増加につながっています。



2. 場所

○ 枚方市子ども総合相談センター・となとな内

子ども総合相談センター・となとな内（サンプルザ 3 号館 4 階）に窓口を設置しています。専用の相談室が 2 部屋あります。



3. 相談体制

○ 臨床心理士等の専門相談員が対応

不登校やひきこもりなど、困難を有する子ども・若者とその家族の専門相談窓口として、臨床心理士や社会福祉士等の資格を有する職員を配置し、関係機関と連携しながら対応しています。

また、職員のスキルアップのため、2か月に1回ひきこもり等の支援について外部講師より助言をもらうスーパービジョンを実施し、各種研修へも参加しました。

4. 相談方法

○ 電話相談と面接相談（専用電話を設置）

	H25	H26	H27	H28	H29
面接相談	540	1029	1289	1348	1746
電話相談	148	87	141	200	326
計	688	1116	1430	1548	2072 (件)

平成29年度は、面接相談が延べ1,746件、電話相談が延べ326件でした。直接会って相談をお受けすることが多いですが、相談者の状況に応じて使いわけています。

5. 相談対象者

<年齢>

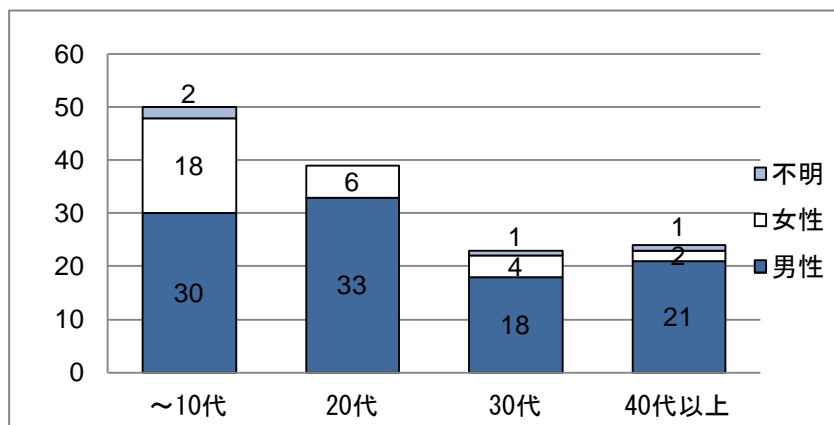
○ 相談対象は、おおむね15歳（中学卒業後）から39歳まで（40代以上の方のご相談もお受けしています。）

平成29年度は、10代が一番多く、20代と続きます。10代の相談ニーズの高さがみられます。また、一定数40代以上の方の相談もあるという現状がみられました。

年代×性別

	～10代	20代	30代	40代以上	計	
男性	30	33	18	21	102	75.0%
女性	18	6	4	2	30	22.1%
不明	2	0	1	1	4	2.9%
計	50	39	23	24	136	
	36.8%	28.7%	16.9%	17.6%		

(新規相談136件より)

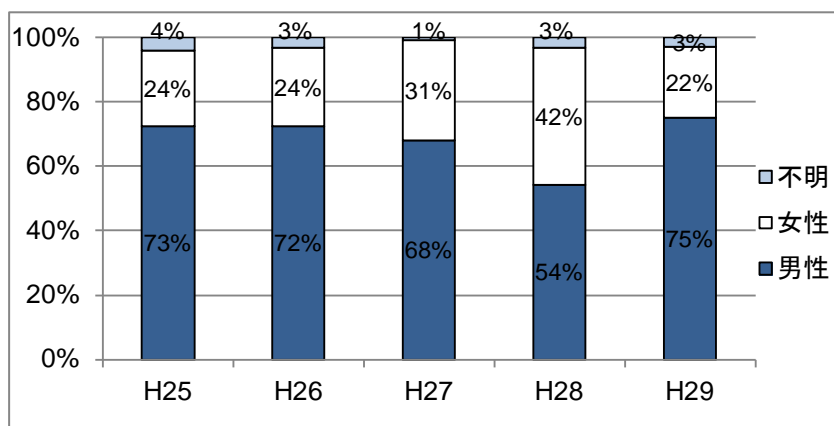


<性別>

男性対象者についての相談の方が多い点は変わりませんが、女性対象者についての相談の割合に変化があります。

	H25	H26	H27	H28	H29
男性	145 (72.5%)	89 (72.4%)	79 (68.1%)	50 (54.2%)	102 (75.0%)
女性	47 (23.5%)	30 (24.4%)	36 (31%)	39 (42.4%)	30 (22.1%)
不明	8 (4%)	4 (3.3%)	1 (0.9%)	3 (3.3%)	4 (2.9%)
計	200	123	116	92	136

(新規相談 136 件より)



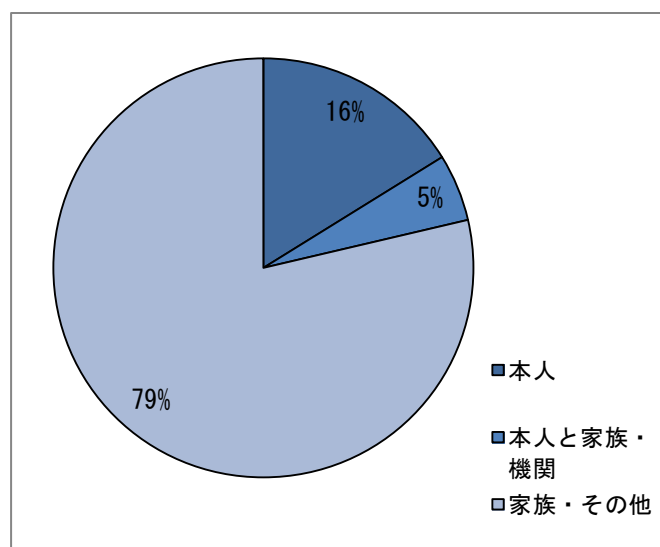
<相談者>

○ 相談は、ご本人とご家族、関係者の方が対象

—初回相談者—

本人	22	16.2%
本人と家族・機関	7	5.1%
家族・その他	107	78.7%
計	136	

(新規相談 136 件より)



初回相談は、78.7%がご家族からです。

まずはご家族との定期的な継続相談を続け、徐々にご本人とつながっていくことを目指していきます。

	H25		H26		H27		H28		H29	
本人	10	(5.0%)	9	(7.3%)	10	(8.6%)	13	(14.1%)	22	(16.2%)
本人と家族・機関	4	(2.0%)	8	(6.5%)	6	(5.2%)	10	(10.9%)	7	(5.1%)
家族・その他	186	(93.0%)	106	(86.2%)	100	(86.2%)	69	(75.0%)	107	(78.7%)
計	200		123		116		92		136	

(新規相談 136 件より)

—経路—

ひきこもり等子ども・若者相談支援センターを知ったきっかけは、関係機関からの紹介が50%（地域若者サポートステーション、家庭児童相談担当、医療機関、高等学校、若者支援関係NPOなど）、ホームページや広報が次いで多くなっています。「その他」の中には、学校から配布された子ども総合相談センター・となとなのリーフレット、講演会、既にご家族やきょうだいが相談しているというものがありました。

	H27		H28		H29	
関係機関	37	(46.3%)	34	(51.5%)	41	(50.0%)
広報	10	(12.5%)	12	(18.2%)	3	(3.7%)
ホームページ	16	(20.0%)	7	(10.6%)	21	(25.6%)
知人	3	(3.8%)	2	(3.0%)	6	(7.3%)
その他	14	(17.4%)	11	(16.7%)	11	(13.4%)
計	80		66		82	

(新規相談の内、聴き取りを行った分)

<居住地>

市内	118	86.8%
市外	11	8.1%
不明	7	5.1%
計	136	

(新規相談 136 件より)

対象は市内在住の方ですが、市外の方からの相談もありました。一旦お聴きして、他市で利用できる相談窓口の情報提供を行うまでの対応をしています。

6. 相談内容

○ 相談内容は、ひきこもり、ニート、不登校に関するものが対象

平成 29 年度の相談内容は、ひきこもりと準ひきこもり相談が合わせて 45.5%、続いて不登校相談が 15.8%、就労相談が 12.1%でした。

ひきこもり 自室からほとんど出ない。自室からは出るが、家から出ない。

普段は家にいるが近所のコンビニなどにはでかける。

準ひきこもり ふだんは家にいるが自分の趣味に関する用事の時だけ外出する。

ひきこもり	準ひきこもり	不登校	就学	就労	その他	計
46	29	26	8	20	36	165
27.9%	17.6%	15.8%	4.8%	12.1%	21.8%	

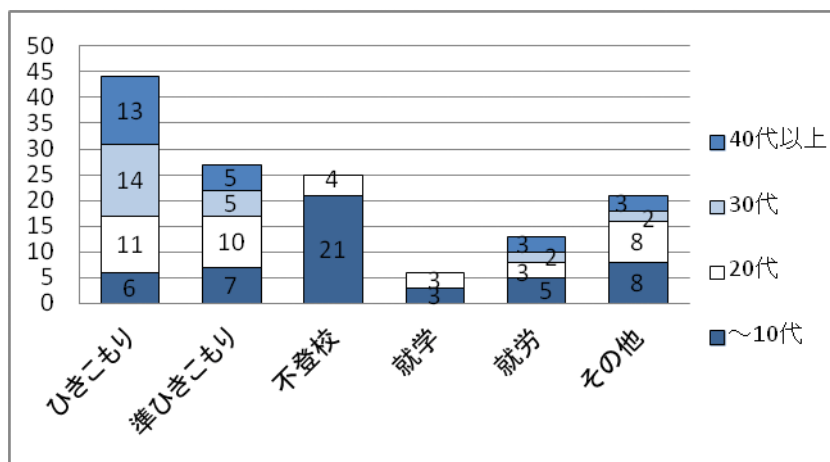
(相談内容の複数選択あり)

不登校と就学に関する相談は 10 代、20 代が中心ですが、それぞれ各年代からの相談があります。

年代×内容①

	ひきこもり	準ひきこもり	不登校	就学	就労	その他	計	
～10代	6	7	21	3	5	8	50	36.8%
20代	11	10	4	3	3	8	39	28.7%
30代	14	5	0	0	2	2	23	16.9%
40代以上	13	5	0	0	3	3	24	17.6%
計	44	27	25	6	13	21	136	
	32.4%	19.9%	18.4%	4.4%	9.6%	15.4%		

(新規相談 136 件より)



※年代と相談内容別の件数は、主な相談内容をひとつにして集計しています。

7. 支援内容

○ 支援経過

平成 29 年度の実相談ケース数 248 件のうち、29 年度に支援終了したケースが 128 件、次年度以降継続のケースが 120 件でした。

終了したものの内訳は、一回の相談にて適切な支援機関についての情報提供や家族の関わり方についての助言を行ったもの(61 件)、継続支援ののち終結したもの(37 件)、来談が途絶えたもの(30 件)でした。

(支援先として情報提供した機関)

若者支援関係 NPO、枚方市保健所、他市相談窓口、地域若者サポートステーション、家庭児童相談担当、医療機関など(多かったものを抜粋)。

平成 29 年度以降も継続となったケース 120 件のうち、ご本人と継続相談中が 57 件、ご家族と継続相談中が 98 件です。ご本人とご家族の両方の相談をお聴きしているケースも 35 件あります。

	H25	H26	H27	H28	H29
次年度継続相談ケース数	50	72	82	94	120
本人と継続相談中	17	36	47	52	57
家族と継続相談中	38	56	72	64	98
(内)本人と家族と並行で継続相談中	5	20	37	22	35

(H25年度からの継続相談も含む)

○ 訪問支援

	H25	H26	H27	H28	H29
家庭訪問	22	40	53	49	61
同行訪問	11	18	25	22	26
計	33	58	78	71	87

継続相談の中で、必要に応じて訪問支援を行いました。

自宅へ伺って、ご本人の話をお聴きする家庭訪問は 61 件、ご本人やご家族と一緒に各窓口に同行する、同行訪問は 26 件ありました。

(同行訪問先)

地域若者サポートステーション、福祉関係事業所、市役所窓口など

○ 機関連携

機関連携	185
その他支援(手紙など)	30

ご本人やご家族の了承の元、他機関に紹介するための事前連絡や、状況の共有、支援のための協議など、機関との連携を行いました。また、本人へ手紙を送るなど、様々な支援の方法を検討しています。

(連携機関)

地域若者サポートステーション、医療機関、自立相談支援センター、若者支援NPO等、福祉関係事業所、市役所各窓口など（多かったものを抜粋）。

○ 居場所支援事業「ひらぼ」

ひきこもり等の子ども・若者が社会に参加するきっかけとなるスモールステップとして居場所が必要で、平成26年度より枚方公園青少年センター等を活用し、居場所支援事業「ひらぼ」を実施しています。相談員との個別面接の次のステップとして4、5人の若者がスタッフと一緒にさまざまな活動を体験する中で、社会とのつながりを築いていくことを目指しています。実際の活動においては、専門のコーディネーターを設置し、「サポートフレンド養成講座」を受講したサポートフレンド(登録者24名)の協力を得て、料理やゲーム、スポーツや外出イベントなどの活動を行いました。また、NPOフェスタへの参加や、女性中心の会、月1同好会(男性中心)など、選択肢の幅を広げ、様々な挑戦ができるよう工夫しています。平成29年度は、新たに地域のご協力を得て、稲刈りなどの農業体験、陶芸、サポートフレンドを講師にしたプログラムなどを取り入れ、引き続き地域の事業所の協力のもとポスティング体験を実施するなど、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターだけでなく、幅広く社会と関わる事ができる機会づくりを始めました。

居場所支援と並行して、個別の面接相談も継続し、一人ひとりに合った支援を行っています。

平成29年度は、毎週水曜日と、他の曜日に月2、3回開催し、計86回、参加延べ人数は430人でした(実人数20人/平成28年度は24人、平成27年度は17人、平成26年度は7人)。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所回数	7	7	7	7	8	7	8	8	7	7	7	6	86
参加延べ人数	36	35	31	32	35	37	39	35	40	39	38	33	430

また、居場所支援に携わるサポートフレンドを対象に隔月、研修会を実施した他、子ども・若者にかかわる研修をフォローアップ研修としました。

居場所支援事業「ひらぼ」を中心に、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの取り組みを広報するため、通信「ひらぼう」[資料1]を発行しました。

○ 家族の会

実施回数	11	月に1回、相談支援センターの相談者を対象に同じ悩みを持つ家族の相互理解や交流を目的として、家族の会を開催しました。
参加延べ人数	56	

平成29年度は実施が11回、参加延べ人数は56人でした。

2時間の内、前半はテーマを設け、支援機関からの情報提供の時間とし、後半は日ごろの子どもとの関わりなど、各自が自由に思いを語り合う時間としました。また、交流もかねて調理イベントを行いました。

4月	ひきこもり等子ども・若者相談支援センターってどんなことをしているの？
5月	ひきこもり支援の実際について「いろいろ使える資源を知ろう」
6月	「はたらく」を支える【北河内サポートステーション】
7月	精神疾患の基礎知識【枚方市保健所】
9月	障害サービスを実際に利用しての生活とは？【NPO法人陽だまりの会】
10月	サポートを受けながらはたらく【枚方市障害者就業・生活支援センター】
11月	就労以外で得られる収入(年金を中心に)【年金児童手当課】
12月	セーフティネットについて(生活保護を中心に)【生活福祉室】
1月	調理イベント
2月	親亡きあとの生活 その①ーライフスキル編ー
3月	親亡きあとの生活 その②ーお金編ー

開催日時は毎月第2金曜日午後2時～4時

8月は休み

【2】市民啓発等

1. 子ども・若者支援のための市民連続講座 ―ひとりひとりが自分らしく―

[資料2]

ひきこもりや不登校、ニート等、若者が置かれている現状と、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターについて、市民により広く、深く知っていただくために連続講座を開催しました。

4回実施し、延べ171名の参加をいただきました。

【第1回】

日時：平成29年10月7日(土) 14:00～16:00

場所：枚方市総合福祉会館（ラポールひらかた）研修室1

テーマ：若者支援の現在

―不登校の高止まり現象とひきこもりの高年齢化―

講師：田中 俊英さん（一般社団法人officeドーナツトーク代表）

参加者：47人



【第2回】

日時：平成29年11月18日(土) 14:00～16:00

場所：枚方市総合福祉会館（ラポールひらかた）研修室1

テーマ：多様性を認め合える社会を目指して

―精神科医療の視点から―

講師：高木 俊介さん（たかぎクリニック院長）

参加者：42人



【第3回】

日時：平成30年1月20日(土) 14:00～16:00

場所：枚方市総合福祉会館（ラポールひらかた）研修室1

テーマ：見方を変えて子どもの‘問題’を理解する

―思春期の青少年を中心に―

講師：加藤 弘通さん（北海道大学大学院教育学研究院発達心理学研究室准教授）

参加者：36人



【第4回】

日時：平成30年2月3日(土) 14:00～16:00

場所：枚方市総合福祉会館（ラポールひらかた）研修室1

テーマ：生きづらさを持ちつつ自分らしく働く

―発達障害を背景に―

講師：古前 志織さん

参加者：46人



2. 職員による出前講座等

生涯学習課で実施している「職員による出前講座」に「若者の置かれている現状ーひきこもり・ニートを中心に」「青年期の心模様」の2つをメニューとして上げています。平成29年度は、1件の申し込みがあり実施しました。また、市民や支援者を対象とした団体等から依頼もあり、職員が講師として講座を実施しました。

①職員による出前講座「なんでも、どこでも出前塾」

団体名：枚方市PTA協議会

日時：平成29年4月25日(火)11:15～12:00

場所：輝きプラザきらら

テーマ：青年期の心模様

対象者：市内幼小中PTA・母親情報交換委員会 参加者：80人

②(特非) パーソナルサポートひらかた「家族のつどい」

日時：平成29年6月21日(水)13:30～15:00

場所：パーソナルサポートひらかた

テーマ：ほどよい親子の関係性

対象者：パーソナルサポートひらかた利用者の家族

③第80回北河内精神保健福祉交流会

日時：平成29年12月9日(土)13:45～16:30

場所：総合福祉会館(ラポールひらかた)

テーマ：発達障害のある方を支える現場の声～生活編～

対象者：精神保健福祉関係機関職員

④枚方市保健所・枚方市内高等学校等連絡会及び市立中学校との合同研修会

日時：平成29年12月19日(火)14:45～15:45

場所：枚方市市民会館

テーマ：子どものひきこもり、不登校の支援について～枚方市の取り組み～

対象者：枚方市立中学校及び枚方市内高等学校等の養護教諭、保健主事

⑤平成29年度第2回スクールカウンセラー連絡会

日時：平成29年12月26日(火)16:00～17:30

場所：枚方市市民会館

テーマ：ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの役割及び現状について

対象者：枚方市内中学校スクールカウンセラー

⑥枚方市精神保健福祉推進協議会「こころの健康講座」

日時：平成30年1月25日(木)14:00～16:00

場所：総合福祉会館（ラポールひらかた）

テーマ：不登校・ひきこもりから考えるこころの健康

対象：市民 定員：50人

3. リーフレットの作成

○ひきこもり等子ども・若者相談支援センターリーフレット [資料3]

相談支援センターの内容を説明した、三つ折のリーフレットを改訂し、5000部作成しました。相談、居場所、家族の会の3つの支援をわかりやすく説明しています。

○枚方市青少年サポートマップ [資料4]

枚方市内にあるひきこもりや不登校などの相談窓口を1枚のイラストマップ（A3六つ折）にまとめたリーフレットの改訂版（第5版）を、5000部作成しました。表面にはマップの使い方と相談窓口の地図を、裏面には各窓口の対象者や支援内容を掲載しました。どこに相談すればいいかわからない時に、ひと目で伝わり、少しでも早く相談につながってもらえるように工夫しています。

○枚方市青少年サポートブック [資料5]

青少年サポートマップから、より詳しい支援内容をまとめた冊子（A4、34ページ）を500部作成しました。ひきこもり等子ども・若者相談支援センターリーフレットや青少年サポートマップとともに、市内の公共施設や各相談窓口などに設置するほか、市内の中学、高校、大学などにも配布しました。

【3】枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議の取り組み

1. 平成29年度の活動状況

[資料6]

ひきこもりやニート、不登校などの相談機関・関係機関のネットワーク構築のため、平成24年6月より枚方市内で活動している各関係機関に呼びかけて、枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議を設置しました。

平成29年度は、奇数月に世話人会議を実施し、次回の全体会議のテーマや今後の方向性を検討しました。偶数月に全体会議を開催し、年間で医療、教育、労働・雇用などのテーマを広く取り入れました。

また、枚方市内で通信制高校のサポート校やフリースクールの立ち上げ等、小中学生～高校生、高校卒業後まで継続的な支援を行う民間の支援機関や、課題を抱える子どもやその家族に適切な支援が行えるよう福祉と教育の連携をめざす「子どもの未来応援コーディネーター」が新たに参画されたり、相談支援について学び合うことを目的とした事例検討会（ケースカンファレンス）に、アドバイザーとして（特非）クラウドナイン理事長小林将元氏にお願いするなど、更なるネットワークの広がりがありました。8月の全体会議では初めてグループワークの形を取り入れ、活発な意見交流が行われました。

平成30年3月には、同ネットワーク会議を、子ども・若者育成支援推進法に基づく「枚方市子ども・若者支援地域協議会」に改編し、同協議会の実務者会議のひとつと位置づけ、各機関等が顔の見える関係を築くとともに、さまざまな状況のひきこもり等の子ども・若者に対し、切れ目のない適切な支援が行える体制作りをめざしました。

実施日	会議名	内 容
4月20日	第1回全体会議	①各機関からの自己紹介 ②今年度の予定について
5月11日	第1回世話人会議	①次回全体会の内容検討 ②今年度の年間計画検討
6月15日	第2回全体会議	教育現場における支援や学び 枚方市教育委員会児童生徒支援室 あおい教育支援グループ代表 伊藤伸孝氏
7月6日	第2回世話人会議	次回全体会の内容検討
7月21日	ケースカンファレンス	事例提供機関 (一社)ステップフォワード ひきこもり等子ども・若者相談支援センター
8月17日	第3回全体会議	ひきこもりやニート、不登校の状態にある子ども・若者への支援について(グループワーク) 「相談機関・支援機関につながることについて」 「居場所のあり方について」 「中学、高校、その卒業後の支援について」 「就労支援について」の4テーマ
9月7日	第3回世話人会議	次回全体会の内容検討
10月19日	第4回全体会議	三家クリニックにおける「ひきこもる人たちへの支援」について ～ひきこもり外来・アウトリーチの取り組みから～ 医療法人 三家クリニック院長 三家英明氏
11月2日	第4回世話人会議	次回全体会の内容検討
12月14日	第5回全体会議	豊中市社会福祉協議会における若者の就労支援の取り組みについて(視察) 取り組みの説明と就労体験の場である「びーの×マルシェ」の見学
1月11日	第5回世話人会議	次回全体会の内容検討
1月18日	ケースカンファレンス	事例提供機関 あおい教育支援グループ 枚方市保健所保健予防課 アドバイザー:(特非)クラウドナイン理事長 小林将元氏
2月15日	第6回全体会議	枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会との交流 つばさの会大阪 イシス大阪家族会 不登校の親の会「カモミール」 登校拒否を克服する会北河内交流会 みんなで作る学校とれぶりんか
3月1日	第6回世話人会議	次回全体会の内容検討、来年度の計画

2.平成29年度 枚方市子ども・若者支援地域協議会 実務者会議

ひきこもり等地域支援ネットワーク会議参加(案内)機関

枚方公共職業安定所（ハローワーク枚方）
大阪府中央子ども家庭センター
大阪精神医療センター
枚方市民生委員児童委員協議会
枚方市社会福祉協議会
NPO法人枚方人権まちづくり協会
枚方市地域就労支援センター
枚方市いきいきネット相談支援センター（社会福祉協議会・人権まちづくり協会）
北河内地域若者サポートステーション（一般社団法人ステップフォワード）
三島地域若者サポートステーション（NPO法人フェルマータ）
OSAKAしごとフィールド
枚方市障害者自立支援協議会幹事会
枚方市障害者就業・生活支援センター（社会福祉法人であい共生舎）
LITALICOワークス枚方
特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター
大阪府立寝屋川高等学校（定時制の課程）
大阪府立大手前高等学校（定時制の課程）
長尾谷高等学校
ECC学園高等学校
近畿情報高等専修学校
あおい教育支援グループ
枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会
（株）京阪毎日舎
枚方市 産業文化部 商工振興課
枚方市 健康部 保健所 保健予防課
枚方市 健康部 保健所 保健センター
枚方市 福祉部 生活福祉室（自立支援担当・困窮者支援担当）
枚方市 福祉部 障害福祉室
枚方市 子ども青少年部 子ども青少年政策課
枚方市 子ども青少年部 枚方公園青少年センター
枚方市 子ども青少年部 子ども総合相談センター「となとな」 家庭児童相談担当
枚方市教育委員会 学校教育部 児童生徒支援室
枚方市 子ども青少年部 子ども総合相談センター「となとな」
子ども・若者・ひとり親相談担当（ひきこもり等子ども・若者相談支援センター）[事務局]
以上32機関

会議の名称	平成 29 年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議<第 1 回全体会>	
開催日時	平成 29 年 4 月 20 日 (木)	14 時 00 分から 16 時 00 分まで
開催場所	メセナひらかた会館 特別会議室	
出席者	枚方公共職業安定所：1 人 大阪精神医療センター：1 人 枚方市民生委員児童委員協議会：1 人 枚方市社会福祉協議会：2 人 枚方人権まちづくり協会：1 人 枚方市地域就労支援センター：1 人 北河内地域若者サポートステーション：2 人 ひらかた市民活動支援センター：1 人 長尾谷高等学校：1 人 ECC 学園高等学校：1 人 不登校・ひきこもり家族会連絡会：1 人 京阪毎日舎：1 人	商工振興課：2 人 枚方保健所保健予防課：2 人 保健センター：1 人 生活福祉室：1 人 障害福祉室：1 人 子ども青少年部：1 人 児童生徒支援室：1 人 子ども総合相談センター：1 人 家庭児童相談担当：1 人 子ども・若者・ひとり親相談担当（事務局）：5 人 計 30 人
<内容>	<ul style="list-style-type: none"> 参加機関より、自己紹介と、リーフレット等を用いてそれぞれの役割や特徴、近況について紹介。共有を行った。 事務局より、今年度の予定について報告。 	

会議の名称	平成 29 年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議<第 2 回全体会>	
開催日時	平成 29 年 6 月 15 日 (木)	14 時 00 分から 16 時 00 分まで
開催場所	メセナひらかた会館 特別会議室	
出席者	枚方公共職業安定所：1 人 大阪府中央子ども家庭センター：1 人 大阪精神医療センター：2 人 枚方人権まちづくり協会：1 人 枚方市地域就労支援センター：1 人 北河内地域若者サポートステーション：2 人 枚方市障害者就業・生活支援センター：1 人 ひらかた市民活動支援センター：1 人 寝屋川高等学校：1 人 ECC 学園高等学校：1 人 あおい教育支援グループ：1 人 不登校・ひきこもり家族会連絡会：1 人	京阪毎日舎：1 人 枚方保健所保健予防課：1 人 保健センター：2 人 生活福祉室：4 人 障害福祉室：1 人 子ども青少年部：1 人 児童生徒支援室：2 人 子ども総合相談センター：1 人 家庭児童相談担当：1 人 子ども・若者・ひとり親相談担当（事務局）：3 人 計 31 人
<内容>	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市教育委員会児童生徒支援室より、枚方市における不登校支援について報告。また、適応指導教室「ルポ」の取り組みについて紹介。 あおい教育支援グループより、通信制高校サポート校としての取り組みや、高校卒業後の就労支援について紹介。また、高校の進路選択についてのポイントを説明。それぞれについて、参加機関と質問や意見交換を行った。 	

会議の名称	平成 29 年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議<第 3 回全体会>	
開催日時	平成 29 年 8 月 17 日 (木)	14 時 00 分から 16 時 00 分まで
開催場所	ラポールひらかた 大研修室	
出席者	枚方公共職業安定所：1 人 大阪精神医療センター：1 人 枚方市社会福祉協議会：2 人 枚方人権まちづくり協会：1 人 枚方市地域就労支援センター：1 人 北河内地域若者サポートステーション：2 人 枚方市障害者就業・生活支援センター：1 人 ひらかた市民活動支援センター：1 人 寝屋川高校：1 人 あおい教育支援グループ：1 人 不登校・ひきこもり家族会連絡会：1 人	京阪毎日舎：1 人 枚方保健所保健予防課：1 人 保健センター：1 人 生活福祉室：2 人 障害福祉室：1 人 子ども青少年部：1 人 児童生徒支援室：1 人 子ども総合相談センター：1 人 子ども・若者・ひとり親相談担当（事務局）：3 人 計 25 人
<内容>	<ul style="list-style-type: none"> 「ひきこもりやニート、不登校の状態にある子ども・若者への支援について」、4 つの各テーマに分かれ、グループワークを行った。 それぞれのテーマは、「相談機関・支援機関につながることについて」、「居場所のあり方について」、「中学、高校の卒業後の支援について」、「就労支援について」の 4 つ。付箋等を用いながら、意見を出し合い、最後に全体でシェアを行った。 	

会議の名称	平成 29 年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議<第 4 回全体会>	
開催日時	平成 29 年 10 月 19 日 (木)	14 時 00 分から 16 時 00 分まで
開催場所	メセナひらかた会館 特別会議室	
出席者	枚方公共職業安定所：1 人 大阪府中央子ども家庭センター：1 人 大阪精神医療センター：1 人 枚方人権まちづくり協会：1 人 枚方市地域就労支援センター：1 人 北河内地域若者サポートステーション：1 人 長尾谷高校：1 人 不登校・ひきこもり家族会連絡会：1 人 京阪毎日舎：1 人 保健センター：1 人	生活福祉室：3 人 障害福祉室：1 人 枚方公園青少年センター：1 人 子ども青少年部：1 人 児童生徒支援室：1 人 子ども総合相談センター：1 人 家庭児童相談担当：2 人 子ども・若者・ひとり親相談担当（事務局）：4 人 計 24 人
<内容>	<ul style="list-style-type: none"> 医療法人・三家クリニックの院長、三家英明氏より、三家クリニックにおけるひきこもり外来、アウトリーチの取り組みから「ひきこもる人たちへの支援」について講演いただいた。 三家クリニックがひきこもり外来を含め現在の支援の形になった経緯や、事例をとおして支援の実際を教えていただいた。その後、参加機関と質疑・意見交換を行った。 	

会議の名称	平成 29 年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議<第 5 回全体会>	
開催日時	平成 29 年 12 月 14 日 (木)	12 時 30 分から 15 時 00 分まで
開催場所	豊中市社会福祉協議会	
出席者	大阪精神医療センター：2 人 枚方人権まちづくり協会：1 人 枚方市地域就労支援センター：1 人 北河内地域若者サポートステーション：1 人 不登校・ひきこもり家族会連絡会：5 人 京阪毎日舎：1 人 枚方保健所保健予防課：2 人 保健センター：1 人	生活福祉室：1 人 障害福祉室：1 人 枚方公園青少年センター：1 人 子ども総合相談センター 家庭児童相談担当：1 人 子ども・若者・ひとり親相談担当（事務局）：4 人 計：22 人
<内容> ・ 豊中市社会福祉協議会を訪問し、若者の就労支援の取り組みについて学んだ。 ・ 豊中市社会福祉協議会、勝部麗子さんより、現在の支援に至る経緯や、様々な支援プログラムなど、地域での取り組みについて講演いただいた。 ・ びーの×マルシェに移動し、見学。		

会議の名称	平成 29 年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議<第 6 回全体会>	
開催日時	平成 30 年 2 月 15 日 (木)	14 時 00 分から 16 時 00 分まで
開催場所	メセナひらかた会館 特別会議室	
出席者	枚方公共職業安定所：1 人 大阪府中央子ども家庭センター：1 人 大阪精神医療センター：1 人 枚方市民生委員児童委員協議会：1 人 枚方市社会福祉協議会：1 人 枚方人権まちづくり協会：1 人 枚方市地域就労支援センター：1 人 枚方市障害者就業・生活支援センター：1 人 大手前高等学校：1 人 不登校・ひきこもり家族会連絡会：1 人 つばさの会大阪：1 人 イシス大阪家族会：1 人	不登校の親の会「カモミール」：2 人 登校拒否を克服する会北河内交流会：1 人 みんなでつくる学校とれぶりんか：1 人 京阪毎日舎：1 人 商工振興課：1 人 枚方保健所保健予防課：2 人 生活福祉室：2 人 子ども青少年政策課：2 人 子ども総合相談センター 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局)：3 人 計：27 人
<内容> ・ 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会との交流、意見交換を行った。 ・ 家族会連絡会より、家族会のこれまでと役割について説明。 ・ それぞれの会より活動の様子や難しい点、思いなどを紹介。参加機関と質疑、意見交換を行った。		

【4】枚方市子ども・若者育成計画 改定版

平成22年4月に子ども・若者育成支援推進法が施行され、その中で、市町村は子ども・若者計画を策定するように努めるものとするがとされました。枚方市では、平成25年5月「枚方市子ども・若者育成計画～ひきこもり等の子ども・若者の自立に向けて～（以下、「現計画」という。）」を策定し、計画に基づいた様々な施策・支援を進めてきました。

国においては、現計画を策定する際に参考にした「子ども・若者ビジョン」が廃止され、新たに「子供・若者育成支援推進大綱」が定められるなど、子ども・若者の有する課題はさらに複合性・複雑性を増し、それを踏まえた重層的な支援の充実が求められています。

これを受けて本市においても、計画策定後、5年間の取り組みやひきこもり等子ども・若者相談支援センターでの相談活動から見える課題も踏まえて「枚方市子ども・若者育成計画」を改定することになりました。



計画の改定については平成29年6月9日の枚方市青少年問題協議会に諮問しました。

計画の基礎資料としては、民生委員児童委員を対象に大阪府が実施した「ひきこもりに関するアンケート調査」の結果や本市で活動するひきこもり・不登校の家族の会へのアンケート調査結果等を踏まえ、同協議会を4回開催し、検討を行い、同年11月29日に答申を受けました。

答申を元に計画（改定版）の素案をまとめ、同年12月20日から翌30年1月12日までパブリックコメントを実施し、7人から10件の意見が寄せられました。それらの意見を反映し、平成30年3月に「枚方市子ども・若者育成計画～ひきこもり等子ども・若者の自立に向けて～改定版」を策定しました。

資料

ひらぼう



第 15 報
(平成 29 年 4 月)

平成 29 年度、スタートです！

今年度もどうぞよろしくお願い致します。



新しい相談員を 紹介します！

はじめまして、3月から相談員をさせていただいている友田と申します。臨床心理士として勤めさせていただくかわら、鍼灸マッサージ師としても働いています。いっけんまったく無関係な職業に見えるので、人からよく『どれが本業ですか？』ときかれます。以前には坊さんをしていたこともあるのですが、

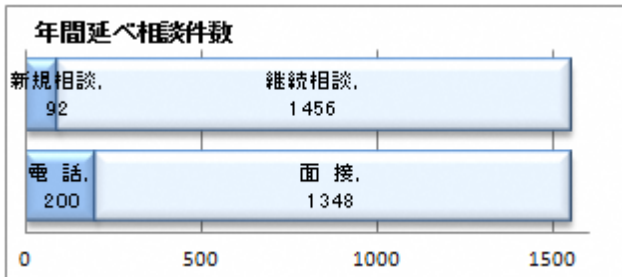
どうも一度にいろんなことをしてしまうのが自分のくせのようです。その頃は住所が三つあって、一週間の間に下宿と実家と寺を転々と寝泊りしながら移動する日々でした。スーツと白衣と袈裟がユニフォームで、かばんはいつもぱんぱん。職業を書く時にはどれを書こうかといつも迷い、われながら本業はどれだろう？と考えさせられました。ただし坊さんをやる前からずっと坊主頭だったので、昔からよく観光先の寺で案内を請われたり、勝手に写真を撮られたりしてました。今でも鍼灸用の線香を買うためにお香やさんに行くと、お茶が出て特別扱いされたりします。

こうやって肩書きだけ見ると『何がしたいねん？』と思われるかもしれませんが、自分の中では職業は違っても人間のもつなんらかの悩みにこたえようとする仕事をしているなあと思っています。それは自分自身の中にいろんな悩みがあって、その悩みを解決しようと思えばあれこれあがいた結果なのかな？とも思います。こんな風にふらふらとあちこちを渡り歩いてきた私ですが、今はようやく実家のある枚方市に落ちつき、臨時職とはいえ市役所というカチツとしたところで働かせていただいているということに、少し不思議な感じがしています。生まれた土地が『ええかげんおちつきなさい！！』といっているような気がします。これを機に地に足を着けることに目覚めるのか？それとももう一波、二波おおきく動いていくのか？自分でもわかりませんが、とにかく今あるご縁を大切にしっかりとお仕事をつとめさせていただきたいと思っています。そういう訳で『どれが本業ですか？』という質問には、「どれも本業です」とおこたえしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



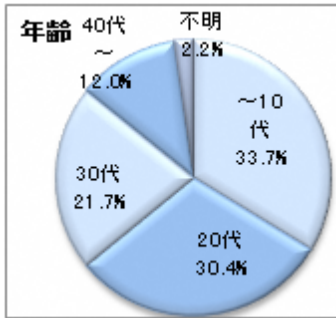
まずはじっくりお話を聴かせてください。

📎平成28年度の相談状況のご報告📎

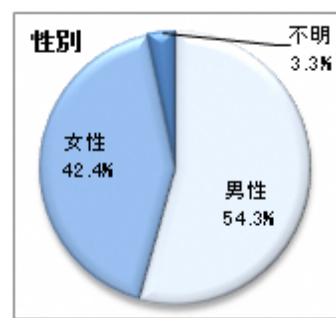


←新規相談が92件、継続相談が1456件、合計延べ相談件数は1548件でした（内、面接相談1348件、電話相談200件）。1回で適した情報提供をさせていただく場合もありますが、多くは時間をかけながら継続した相談を重ねています。

～新規相談（92件）の内訳～

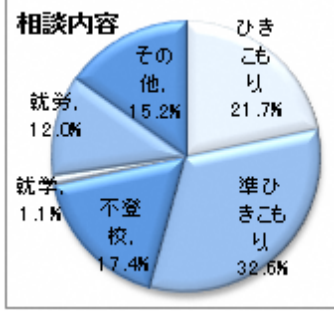


←ご本人の年齢層は、10代20代が多いですが、幅広くご相談をお受けしています。

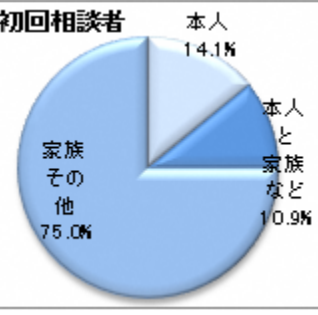


←男性のご相談が6割弱。昨年度より、女性の相談の割合が増えました。

→相談内容は様々です。複数の背景を含んでいることも多いです。（グラフは主な内容ひとつの集計です）



→初回の相談者は7割強が、ご家族からの相談です。ご家族との相談を通して、ご本人とつながっていくことを一緒に考えていきます。



4月のひらほ pick up!

7回の開催の中からおすすめをご紹介します！

9、19日 仮面制作
ダンボールを切り貼りして仮面を作ります。

12日 女性中心の会
月イチの女子ひらほ。毛糸ぽんぽんを作ります。お茶やお菓子を食べながらのんびりすごしています。

24日 月1同好会
ゲーム大会！

基本のひらほを中心に、参加メンバーに合ったバリエーションをメンバーと作っていただければなと思っています。



12月年越しラーメン！
スープも麺も手作り～



けしごむはんこ@3月女子ひらほ

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内）
電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

ひらぼ



第16報
(平成29年6月)

新しい仲間が加わり、
ひらぼも4年目がはじまります。



ひらぼコーディネーター を紹介します！

5月から「ひらぼ」のコーディネーターをしている池田です。まだまだ慣れない事、わからない事だらけで、てんやわんやしながら頑張らせてもらってます。コーディネーターとして働いてからまだ日が浅い事もあり、「あなた誰？」状態だと思うので、自己紹介させていただきますと思います。



普段の池田の様子

普段僕は大学院で研究をしています。研究の内容としては、「将来的な大きな良い出来事」と「直ぐの小さい良い出来事」の二者択一状態で、どちらを選択するか？と言う事に興味があります。例えば、ダイエット中に、今日の前にあるケーキを食べるか、1ヶ月後に1キロ減量に成功しているか？みたいな。こういう時、僕は大概ケーキ食べちゃうのでダイエットできないんですよ（笑）

そして、臨床心理士でもあるので、「ひらぼ」でのコーディネーターの様な活動もしております。昔から「ひらぼ」の活動に近いボランティア活動も行なっていたので、こういった活動には興味がありました。なので、今は楽しく活動に参加させてもらってます。

さて、今後自分が「ひらぼ」のコーディネーターを本格的にやって行く事になると思います。僕としては、個人個人がよい居場所として「ひらぼ」の利用をしてもらえればなあと考えています。また、魅力的なプログラムも組めていけば良いかなとか思っていますので、是非いろんな方とご一緒したいと思います。

どうかよろしく願いいたします。

平成 29 年度・家族の会の予定

1 年を通してテーマを決め、時間の前半は情報共有を、後半は意見交流を行います。市役所の他部署や、外部の講師にもお願いする予定です。

日にち(予定)	テーマ(予定)
4月14日(金)	ひきこもり等子ども・若者相談支援センターってどんなことしているの？
5月12日(金)	ひきこもり支援の実際について いろいろ使える社会資源を知ろう
6月 9日(金)	「はたらく」を支える【北河内地域若者サポートステーション】
7月14日(金)	精神疾患の基礎知識【枚方市保健所】
9月 8日(金)	障害サービスを実際に利用しての生活とは？【NPO】
10月13日(金)	サポートを受けながら働く【枚方市障害者就業・生活支援センター】
11月17日(金)	就労以外で得られる収入（年金を中心に）【年金児童手当課】
12月 8日(金)	セーフティネットについて（生活保護を中心に）【生活福祉室】
1月12日(金)	調理イベント
2月 9日(金)	親亡きあとの生活 その①—ライフスキル編—
3月 9日(金)	親亡きあとの生活 その②—お金編—

※毎月第 2 金曜日が基本日程です（8 月は休み。11 月は第 3 金曜日に行います）。
時間は 14 時～16 時。場所はラポールひらかたです。

6 月のひらぼ pick up!

7 回の開催の中からおすすめをご紹介します！

19日 新生姜ソーダとクッキー
新生姜で大人スイーツづくり

28・30日 ボウリングピン作り
“ボウリングの日”にちなんで、ボウリングのピンを作成！木材から、彫りだします。
さて、うまくいくかはお楽しみ～

月 1 ゲーム同好会
& 女性中心ひらぼ
今月もやります☆



中宮本町卓球場

(中宮本町 7-17)

4 月、枚方市の若者支援に役立ててほしいと、市民の方より卓球場の利用のお誘いをいただきました。ご自身のお孫さんが活躍できる場をと作られた卓球場、ひらぼメンバーでおじゃましました。

一般貸し出しもしております。

「一度遊びにきてください」とおっしゃっていました。

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

ひらぼ



暑い日が続きますが、
元気にひらぼやっています。

第 17 報
(平成 29 年 8 月)

ひらぼメンバー を紹介します！

こんにちは。大学院の実習でひらぼに 4 月から参加させてもらっている西村です。大学卒業後すぐに就職せずに、生きるうえで大切なものって何だろうという漠然とした思いがあり、いろんな世界を見て、いろんな経験をして、いろんな人との出逢いの中で何か見つかるかもしれないということで、オーストラリアやタイ、カンボジア、インドを一人旅しました。

オーストラリアでは、10 時間程誰にも会わないような山を登り、登山中に見える海や雲間から見える太陽そして山頂での夕日を見て泣きそうぐらい感動しました。また、ほとんど車も通らないような砂漠地帯を自転車で旅をしていたとき、灼熱の太陽の下で自転車をこぎながら見渡す限りの地平線と青空の間で、今までの人生で感じたこともないぐらいの生きているという感覚になって空に向かって「生きてるぞー」と叫んだりしました。自然の中でこそ感じられる特有の感動と生きている感覚というものを体験しました。東南アジアの中でも特にインドは無茶苦茶で、道に犬と牛と車と人力車と人間がうじゃうじゃといて道のそこら中に牛のフンが落ちていたり、定員 4 名の三輪タクシーに 11 人ぐらい乗せたり、そのタクシーが運転荒くて片輪走行になったり、前の車にワザとぶつかったり、町のみんなが見れるようなところで人の死体が焼かれていたり、インド人に平気で嘘つかれて騙されたり、お金をすられかけたり、、そんな体験とインドでの 100 時間近い座禅修行によって、今までの当たり前や常識、自分自身はこうあるべきだといったものから少し解放された気がしました。

今、心理の道を志していて、志を持った理由はいろいろありますが、一つは今まで外の世界を旅して生きるうえで大切なものを探してきたわけですが、今は心という内側の世界を旅して生きるうえで大切なものを探そうとしているということがあります。

こんな私ですが、ひらぼではカードゲームなどでよく負けて悔しがったりしています。工作や芸術など苦手ですが、ひらぼのみんなに教えてもらったりしながら楽しくやらさせてもらってます。実習期間は 9 月末までで残り少ないですが、これからも宜しくお願いします！



ー “子ども・若者支援のための市民連続講座” 開催のお知らせー

日時；平成29年10月7日（土）14：00～16：00

内容；若者支援の現在ー不登校の高止まり現象とひきこもりの高齢化ー

講師；田中 俊英 氏（一般社団法人 office ドーナツトーク代表）



日時；平成29年11月18日（土）14：00～16：00

内容；多様性を認め合える社会を目指してー精神科医療の視点からー

講師；高木 俊介 氏（たかぎクリニック院長）

場所；ラポール枚方 研修室1にて

定員50名；無料

ーお申込みー

9月1日10時から受付

“子ども総合相談センター”まで

※全4回開催予定。後半は、後日お知らせします！

8月のひらぼ pick up!

7回の開催の中からおすすめをご紹介します！

9日 音楽の時間

色んな珍しい楽器も登場。

“モジュール・シンセサイザー”とは！？

21日 バナナケーキ作り

8月7日はバナナの日！

30日 プルーン収穫

めったに体験できない生のプルーンの収穫をします。

その場で食べて、たくさんとれたらあとでお楽しみも！！

今年も、ひらかたNPOフェスタに、
ひらぼメンバーで参加します！

・10月1日(日)

・市民会館前のテントブースにて

・月1同好会やります
・女性中心ひらぼ；
今回は消しゴムはんこと、
毛糸ぽんぽん



～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

ひらぼう



食欲の秋！ひらぼで稲刈り体験をしました。

第18報
(平成29年10月)



ネットワーク会議の仲間 を紹介します！

一般社団法人ステップフォワードの大西です。今回はネットワーク会議のご縁もあって、こちらに文章を書かせていただくことになりました。

ステップフォワードは、平成28年11月に子ども・若者を主に対象として、社会的・職業的な自立支援や進路方向の決定に向けた支援を行い、活力ある地域社会作りに貢献する事を目的として設立しました。

今年度は二つの事業を受託しています。一つは、厚生労働省が委託元の「地域若者サポートステーション事業（以下「サポステ」）」。もう一つは、枚方市が委託元の「枚方市就労準備支援事業（以下「就労準備」）」です。

サポステでは、15才～39才の方で、半年～1年以内に就労を目指す方を対象に支援を行っています。履歴書の書き方や面接の受け方を面談の中で学んでいただき、職場体験や各セミナーへの参加等もしながら自立を目指していただいています。

私がスタッフとして関わらせていただいている就労準備では、15才～65才の方で、主に経済的に困窮されている方の支援を行っています。気持ちの整理や様々な目標設定を面談の中で行い、地域のお手伝い、運動、カフェなどの集合プログラムも準備しています。

初めは人と関わるのが苦手だった方も、面談や集合プログラムへの参加を通して、今では一人で地域の方々との交流の機会を持って、積極的にコミュニケーションをはかることが出来るようになっていきます。

また、地域イベントのお手伝いを通して、改めて人の為に働く喜びを感じる体験をしていただいています。人との触れ合いを通して、「誰かの為に何かをする」ことに喜びや価値を見出して、自立に向けて歩いていかれることもあります。

私自身も地域の方との繋がりで、これまでにない「喜び」や「やりがい」を感じています。これからも、利用者の方々や地域住民の方々が、安心して楽しく暮らしていけるような支援や地域づくりに取り組んでいきたいと思っております。



コーディネーターレポート!!

「ひらぼで、
NPO フェスタに
参加しました！」

2017.10.1

今年も昨年度に引き続きラムネの販売体験を行うと共に、ラムネのビンを返却（ごみゼロ大作戦！）して頂いた方に、ひらぼメンバーが作成した消しゴム判子を使ったオリジナルカード作成のイベントを実施しました。最初は肌寒く、参加メンバーと「この寒さでラムネは売れるのだろうか…」と心配をしていましたし、お客さんも「今はなあ…」というリアクションが多かったのですが、午後からは気温が上がってくれたお陰で何とかほぼ完売の状態になりました。

さらに、ほとんどのひらぼメンバーは初めてのNPOフェスタ参加だったのですが、各々しっかりと自分の担当する作業をこなしてくれていました。受付をする人、ラムネの水気を拭き取る人、消しゴム判子の受付をする人、かごに入れたラムネを持って遠征販売に行く人 etc…。色々な方との交流が出来て、楽しい反面、少し疲れた人もいた様子でしたが、参加者一同、概ねいい感じに過ごせたのではないかと思います。

今回のような、皆でひとつのことに取り組んだり、地域の人たちと仕事として接したり、お祭りでお店を出したりすることは中々出来ない貴重な経験だと思います。皆大変だったかもしれませんが、来年は、お客として顔を出したいなと思ってくれるひらぼメンバーが一人でも増えるといいなと思った次第でした。



10月のひらぼ pick up!

8回の開催の中からおすすめをご紹介します！

1日 NPO フェスタ

ひらぼのテントブースにてラムネ販売体験をします。

12日 稲刈り

稲刈りのお手伝い。貴重な体験になりますね。

16日 八景クエスト&スケッチ

八景クエスト第4段！「淀川の四季」秋の淀川でスケッチです。

20日 水墨画

それぞれのイメージでチャレンジします。

- ・月1同好会
- ・女性中心ひらぼも、やりますよ～



～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

ひらぼう



第19報（平成29年12月）

コーディネーターレポート!!

「一押しひらぼプログラム」

10月～11月

こんにちは。ひらぼコーディネーターの池田です。最近はお秋から冬に変わりつつあり少し肌寒く…というよりも急に本格的な冬になってしまい非常に寒いですね。私は冬の方が好きですが、流石にこれだけ急だと体を壊しそうで心配です。毎年の事ながらインフルエンザや風邪には気をつけたい時期になったものです。

さて、今回は10月と11月の個人的に一押しだったプログラムについてお話ししたいと思います。まず10月ですが、やはり“稲刈り”が一番思い出深かったかと思います。職員さんのご実家に協力頂き実現した、運よくできたプログラムではあったのですが、大阪に暮らす人間にとって農業体験は中々できない貴重な体験だったのではないかと思います。個人的にも人生初体験の稲刈りでしたので、非常にウキウキ気分で行いました。鎌を使う事自体も初めてで、最初は稲の束を一つ刈り取るまでに4～6ストロークほどかかっていたのですが、徐々に慣れてくると半分以下のストロークで刈り取れるようになり、上達感を得られました。一緒に参加したひらぼメンバーも、最初は戸惑いつつ慎重に刈り取っていたのですが、最後の方になると肩に稲の束を担いだり、非常に様になっていたように思いました。また、時間が経つにつれ、全員に徐々に笑顔が増えていったような気もしました。

11月ですが、一番印象に残っている行事は“柔道”ですね。このプログラムは普段サポートフレンドとしてひらぼに参加してくださっている方を講師としてお招きして実現しました。私は授業で柔道を習った経験はあるものの、かなり久しぶりの体験でした。では、実際にどのような練習をしたかというと、急に試合が出来るわけでは無いので、主に受け身の練習を行いました。受け身の練習では、後ろ受け身と横受け身、前受け身の練習をしました。個人的には昔、横受け身を授業で習って以来こけた時の怪我が明らかに減ったので、受け身の練習をする事は、非常に重要だと感じております。その後、少しだけ一本背負いの練習をしました。講師が投げられ役で、ひらぼメンバーやコーディネーターは投げ役でした。ひらぼメンバーと講師ではかなり体格に違いがあり、正直投げることが出来るのかと思いましたが、きちんと投げ方を学ぶと投げる事が出来ていました。流石は武道ですよ。皆いい汗をかいてスッキリとした顔をしていたので、またできれば行いたいと思います。

10月や11月のプログラムでは、あえて外で運動をするプログラムを入れてみました。寒くなるとコタツで丸まりたくなりますし…。そして、今後はますます寒くなると思いますので、あえて何かしらお出かけしたり運動するプログラムが組めればと思います。



— “子ども・若者支援のための市民連続講座”を開催します—

日時 平成30年1月20日(土) 14:00~16:00

内容 見方を変えて子どもの‘問題’を理解する
—思春期の青少年を中心に—

講師 加藤 弘通 さん (北海道大学大学院教育学研究院発達心理学研究室准教授)

第2部!!

思春期の発達心理学を専門とされている講師より、思春期の子どもの行動や世界を、視点を変えて理解することで、人間についての理解を深めるヒントをいただきます。

日時 平成30年2月3日(土) 14:00~16:00

内容 生きづらさを持ちつつ自分らしく働く —発達障害を背景に—

講師 古前 志織 さん

子どもの頃から人と関わることの苦手さを感じ、就学や就労の壁にぶつかることも。現在は、就労継続A型を利用しながら一般就労へ向けて歩んでおられる講師より、これまでの道のりやその想いをお話しいたします。

場所 ラポールひらかた 研修室1 **定員** 50名 無料

お申し込みは、子ども総合相談センター **となとな** まで



12月のひらぼ pick up!

7回の開催の中からおすすめをご紹介します!

6日 燻製づくり&映画決め

年末恒例の調理イベントにむけてベーコンの下準備をしますよ!

11日 ピザ作り

今年の年末調理イベントは、手作りピザです。手作りベーコンを使って、生地からつくりあげていきます。

13日 倉庫煤払い&仮面・しめ縄づくり

稲刈りのときの藁をいただいて、しめ縄づくりに挑戦します。



・月1同好会
・女性中心ひらぼ
も、やりますよ~

秋のパウンドケーキつくりました。りんごと紅茶、さつまいもとかぼちゃの2種類です。
@11月女子ひらぼ

~発行元・お問い合わせ先~

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター(枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内)

電話: 050-7102-3228 / 相談専用電話: 072-843-2255 / FAX: 072-846-7952

ひらぼう



第20報 (平成30年2月)

* *

枚方市不登校・ひきこもり 家族会連絡会を ご紹介します！

不登校やひきこもりについて、当事者の居場所とともに家族会が大きな役割を果たしています。枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会は、平成28年に、枚方市内の5団体で結成されました。枚方市ひきこもり等支援ネットワーク会議の世話人団体にもなっています。

【NPO 法人つばさの会大阪】

私たちの団体はひきこもりの若者を持つ約20家族が集まりその解決をめざして情報の交流をするために発足しました。

毎月原則第3日曜日にサプリ村野で交流会を、また月1回ですが若者向けにソフトボールを行っています。居場所の設営と、年に一度は講師を招いて講演会を開催しています。就職した若者も数名ありますが、社会復帰につなげるには難しいことが多いです。

【イシス大阪家族会】

「ひきこもる」というかたちで社会と距離を置く若者の親が、「心配」や悩みを語りホッとする場として発足した自助組織です。毎月第2日曜日、1時半より、メセナひらかた会館で開いています。

ひきこもる若者が抱える生きづらさは、今日の生きづらい社会と無縁ではありません。ひきこもりからの「脱出」のみを目指すのではなく、ひきこもる我が子とともに歩む親や家族でありたいと思っています。

【不登校の親の会カモミール】

結成20年、カウンセラー本多利子さんの協力の下、たくさんの方の元当事者の言葉から学び伝えてきました。不登校の子どもを困った目で見ず、尊重して見守ってください。安心して過ごすことで、きっと次へのエネルギーが湧いてきます。

親のしんどさは同じ立場の支え合いで軽くしましょう。どうぞ定例会（毎月第3土曜日夜7時より、ラポールひらかたにて）にお越しください。

【登校拒否を克服する会北河内交流会】

登校拒否やひきこもりで悩んでいる親たちが悩みを語り合い交流し学びあい、子どもや青年たちの自立に向けて安心できる教育・社会環境づくりをめざしています。

蹉跎生涯学習市民センターと、ふらっとねやがわで偶数月の第3日曜日 1時から開催しています。学齢期・青年期に分かれて交流します。年に6回のニュース発行や、親子で楽しめる行事も行っています。

【みんなで作る学校とれぶりんか】

ひきこもりやニート、不登校など、さまざまな悩みを抱える子どもや若者たちの自立支援を目的に、10の専門部（サークル）を結成し、多様な社会貢献活動を通してメンバー自らの力で立ち上がっていく力を育成しています。専門部は、子どもたちが主体となって、同世代の中で支えあう仕組みをつくっています。また、「枚方子どもいきいき広場」や「とれぶりんか子ども食堂」の運営なども行っています。

～“子ども・若者支援のための市民連続講座”を開催しました～

☆10月7日☆

若者支援の現在

-不登校の高止まり現象とひきこもりの高齢化-

ひきこもりや不登校の子ども・若者支援に長く携わってこられた田中俊英さん(一社 office ドーナツトーク代表)より、今、改めて感じておられる若者支援についてお話しいただきました。‘サードプレイス’の視点から、若者に必要な学校と家庭以外の居場所



の意味や、社会の枠組みがもう少しゆるい器へと変わっていくような発想のヒントをいただきました。

☆11月28日☆

多様性を認め合える社会を目指して

-精神科医療の視点から-

医師として地域の中で精神障害の方を援助する活動をしてこられた高木俊介さん(たかぎクリニック院長)より、これからの社会のあり方について、ご経験の中からその想いをお話しいただきました。日本の



精神科医療をとりまく社会の変遷と、私たち自身が作り出した偏見と思いつみからどう転換していくかの視点を教えていただきました。

☆1月20日☆

見方を変えて子どもの‘問題’を理解する

-思春期の青少年を中心に-

思春期の発達心理学を専門とされている加藤弘通さん(北海道大学大学院准教授)より、具体的な事例を通して、思春期の子どもの行動や世界を、見方を変えて理解する視点をお話しいただきました。「相手」ではなく、「私」の見方を変えることで、見えていなか



った部分が見えてくること、「まず聴かせて」という姿勢で子どもと関わることが大事だと教えていただきました。

☆2月3日☆

生きづらさを持ちつつ自分らしく働く

-発達障害を背景に-

ご自身が発達障害をもちつつ、福祉的就労支援を利用しながら歩んでおられる古前志織さんより、これまでの道のりやその想いをお話しいただきました。不登校やひきこもり状態から、様々な支援者と出会い、現在に至るまでを、発達障害を理解するコツを



織り交ぜながらご紹介くださいました。最後に、福祉的就労の枠もないくらい、社会全体が様々な障害や困難のある人たちを受け入れてくれるようになることを、メッセージとして伝えてくださいました。

ちょっとだけひらば

2月7日(水)は、**ポスティング体験** をします。

地域の新聞販売店のご協力を得て、チラシをポストに投函するお仕事体験をします！

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター(枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内)

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

「ひとひひとひが自分らしく」 子ども・若者支援のための市民連続講座

枚方市では、「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」にて、ひきこもり等のご本人・ご家族からの相談をお受けしています。

ひきこもり等の子ども・若者の現状と自立に向けた取り組みについて、市民の皆様により知っていただく機会として、連続講座を開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

第1回 10月7日(土) 14:00~16:00

若者支援の現在

「不登校の高止まり現象とひきこもりの高年齢化」

田中 俊英 さん (一般社団法人 office ドーナツトーク代表)

ひきこもりや不登校の子ども・若者支援に長く携わってこられた第一人者である講師より、改めて「今の若者支援」について感じておられることをお話いただきます。

第2回 11月18日(土) 14:00~16:00

多様性を認め合える社会を目指して

「精神科医療の視点から」

高木 俊介 さん (たかぎクリニック院長)

医師として地域の中で精神障害の方を援助する活動をしてこられた講師より、これからの社会のあり方について、ご経験の中からその想いをお話いただきます。

【場所】ラポールひらかた3階 研修室1

【定員】各 50 人

【申し込み】

☆第1回・第2回は、9月1日(金)10:00~

いずれも市役所分室(サンプラザ3号館)4階、
子ども総合相談センターへ。

電話・電子メール・ファックス可。住所・氏名・電話番号・参加希望日を明記のこと。

全4回の連続講座です。
後半は、広報ひらかたや
市ホームページ等で
お知らせします。

枚方市 子ども青少年部 子ども総合相談センター

(ひきこもり等子ども・若者相談支援センター)

枚方市岡東町 12-3-410 サンプラザ3号館4階

TEL: 050-7102-3228 / FAX: 072-846-7952 / E-Mail: kodomocenter@city.hirakata.osaka.jp



「ひとひひとひが自分らしく」 子ども・若者支援のための市民連続講座

枚方市では、「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」にて、ひきこもり等のご本人・ご家族からの相談をお受けしています。

平成 29 年度・第 2 部!!

ひきこもり等の子ども・若者の現状と自立に向けた取り組みについて、市民の皆様により知っていただく機会として、連続講座を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

第 1 回 1 月 20 日 (土) 14:00~16:00

見方を変えて子どもの「問題」を理解する

— 思春期の青少年を中心に —

加藤 弘通 さん (北海道大学大学院教育学研究院発達心理学研究室准教授)

思春期の発達心理学を専門とされている講師より、思春期の子どもの行動や世界を視点を変えて理解することで、人間についての理解を深めるヒントをいただきます。

第 2 回 2 月 3 日 (土) 14:00~16:00

生きづらさを持ちつつ自分らしく働く

— 発達障害を背景に —

古前 志織 さん

子どもの頃から人と関わることの苦手さを感じ、就学や就労の壁にぶつかることも。現在は、就労継続 A 型を利用しながら一般就労へ向けて歩んでおられる講師より、これまでの道のりやその想いをお話しいたします。

【場所】ラポールひらかた 3 階 研修室 1

【定員】各 50 人

【申し込み】

☆12 月 1 日 (金) 10:00~

いずれも市役所分室 (サンプラザ 3 号館) 4 階、
子ども総合相談センターへ。

電話・電子メール・ファックス可。

住所・氏名・電話番号・参加希望日を明記のこと。

第 1 部は、たくさんのご参加ありがとうございました！

【10/7】若者支援の現在-不登校の高止まり現象とひきこもりの高年齢化- : (一社) office ドーナツトーク代表・田中俊英さん、【11/18】多様性を認め合える社会を目指して-精神科医療の視点から- : たかぎクリニック院長・高木俊介さんに、ご講演いただきました。

枚方市 子ども青少年部 子ども総合相談センター

となとな

(ひきこもり等子ども・若者相談支援センター)

枚方市岡東町 12-3-410 サンプラザ 3 号館 4 階

TEL: 050-7102-3228 / FAX: 072-846-7952 / E-Mail: kodomocenter@city.hirakata.osaka.jp

ひとりひとりのペースで一歩ずつ…。

ひきこもり、ニート、不登校に関する相談をお受けしています。

おおむね 15 歳から 39 歳くらいのご本人とご家族、関係者の方が対象です。

少しずつ社会と関わるきっかけがほしい

自立って言われても何をしたらいい？

学校に行きにくい

これからの生活が不安

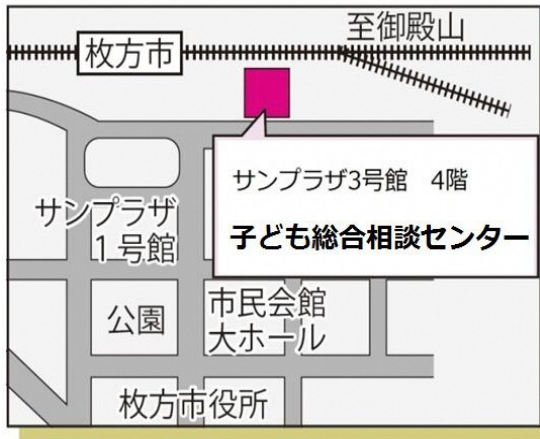
働きたいけど
どうすればいいかわからない

外に出るのがこわい

対人関係が苦手

などなど。

相談は無料です。
秘密は厳守します。
安心してご相談ください。



枚方市
ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

相談電話：072-843-2255

FAX：072-846-7952

〒573-0032 枚方市岡東町 12-3-410

ひらかたサンプラザ3号館4階

(京阪電車 枚方市駅 東改札口と連絡)

子ども総合相談センター「ととな」内

FAX：072-846-7952

枚方市

ひきこもり等
子ども・若者
相談支援センター



相談

電話相談と面接相談があります。
面接相談は事前の予約が必要です。

- これまでの経過や現状についてお聴きし、今後のことを一緒に考えます。
- 相談者に適した相談窓口や利用できるサービスの情報提供をし、おつなぎします。
- 定期的に来ていただく継続相談も可能です。
- 必要に応じて訪問支援もおこないます。

相談電話

072-843-2255

受付時間

9:00 ~ 17:30 (土日祝のぞく)

居場所

居場所支援事業「ひらぽ」

「ひらぽ」は悩みをかかえた若者がスタッフと一緒にのんびりと過ごす居場所です。

- 集団のなかでの雑談、ゲームなどの遊びや調理といったイベント行事を体験します。
- 経験を広げ、元気と自信をつけてもらうことが目的です。

※利用には事前の面接相談が必要です。

“さんぽ感覚で気楽に”
“次のいっぽにつなげる”
それが「ひらぽ」です。



家族の会

不登校・ひきこもり当事者を支える家族のための交流会です。

当所での相談と合わせてご利用ください。

- 同じ立場の集まりのなかで気持ちを共有し、安心感を得てもらうことが目的です。
- ご家族同士の情報交換や、経験談を聞くことで先の展望のきっかけにさせていただく場もあります。
- 家族の会のなかで、専門の講師による講座を開くこともあります。

枚方市青少年サポートマップ

枚方市には、悩みや不安を抱えている青少年のみなさんやご家族に寄り添って、お話をお聴きする場所があります。ひとりで悩まず、一度相談してみませんか？

枚方市子ども総合相談センター **となとな**
〒573-0032枚方市岡東町12-3-410サンプラザ3号館4階
050-7102-3228



枚方市 ひこほしくん

- ① 相談例を参考に相談窓口を探そう。
- ② マップで場所を確認!
- ③ 相談窓口の詳細は裏面だよ。

- ひきこもりやニート、不登校について、相談したい → ①
- 就職に向けて相談したい → ②③
- 居場所や活動に参加したい。家族や同じ立場の人と会いたい → ①④⑤
- 25、6歳までの青少年に関する相談がしたい → ⑥⑦
- 0～18歳までの子育てに関する相談がしたい → ⑧
- 不登校、いじめなど幼小中学生の教育相談がしたい → ⑨
- 身近な地域の中で、福祉に関する相談がしたい → ⑩⑪
- こころの健康について相談したい → ⑫⑬
- 障害福祉の支援について相談したい → ⑭

- 1 枚方市子ども総合相談センター
ひきこもり等子ども・若者相談支援センター
- 8 枚方市子ども総合相談センター
家庭児童相談担当

5 インス大阪 家族会

- 5 不登校の親の会「カモミール」
- 10 いきいきネット相談支援センター
1 枚方市社会福祉協議会(中部・南部)
- 11 民生委員児童委員協議会
- 13 心の健康相談

6 枚方公園青少年センター

八景
淀川の四季



14 障害者相談支援センター
4 (地域生活支援センター じい)

5 登校拒否を克服する会・北河内交流会

7 大阪府中央子ども家庭センター
〒572-0838 大阪府豊川市八城町23-5

八景
樟葉宮跡の杜



継体天皇樟葉宮跡
交野天神社★

10 いきいきネット相談支援センター
1 枚方市社会福祉協議会(北部)

樟葉生涯学習市民センター
樟葉図書館

八景
牧野の桜



牧野の桜

5 みんなでつくる学校とれびりんか

9 子どもの笑顔を守るコール
(教育委員会 児童生徒支援室)

14 基幹相談支援センター
5 (相談支援センター 陽だまり)

穂谷川

★中央図書館

14 基幹相談支援センター
2 (パーソナルサポートひらかた)

八景
百済寺跡の松風



百済寺跡の松風

★陸上競技場

14 障害者相談支援センター
6 (クロスロード)

12 枚方市保健所

八景
万年寺山の緑陰



万年寺山の緑陰

八景
香里団地の並木



香里団地の並木

★南部生涯学習市民センター

相談内容別に色分けしてあるよ。相談先に迷った時は、参考にしてみてね。

ほっと一息、枚方八景の散策もおすすめだよ。



枚方市 ひこほしくん

八景
国見山の展望



国見山の展望

枚方市 ひこほしくん

1 ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

対象者	おおむね15歳から39歳までの本人、家族、関係者 ☆
支援内容	ひきこもり、ニート、不登校に関する相談をお受けし、継続して対応方法や支援を一緒に考えていきます。必要に応じて、より適した支援機関等におつなぎします。次のステップとしての居場所支援や家族の会も行っています。
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:30
住所	〒573-0032枚方市岡東町12-3-410サンプラザ3号館4階 子ども総合相談センターととなり内
Tel/Fax	【Tel】072-843-2255 【Fax】072-846-7952

2 北河内地域若者サポートステーション（一般社団法人ステップフォワード）

対象者	15歳から39歳までの無業の若者と、その家族、関係者
支援内容	働くことに踏み出したい若者を対象に、相談者の状況に合わせて就職活動等をご支援します。個別面談、就活プログラム、職場体験、定着支援などを行っています。（職業紹介は行っていません）
相談方法	面接相談（要予約・無料） 火～土曜日（祝日を除く） 9:00～18:00
住所	〒573-0032枚方市岡東町12-1サンプラザ1号館305号室
Tel/Fax	072-841-7225

6 <青少年相談> 枚方公園青少年センター

対象者	おおむね26歳までの青少年及びその保護者等 ☆
支援内容	専門の相談員（児童養護施設指導者、臨床心理士、ひきこもり相談士）が、いじめ、不登校、ひきこもり、中途退学、人間関係等の青少年相談をお受けします。
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料） 毎月 第1月曜日（17:00～19:50） 第3月曜日（15:00～18:50） （予約受付は9:00～17:00・第4月曜日と年末年始を除く）
住所	〒573-0058枚方市伊加賀東町6-8
Tel/Fax	【Tel】072-844-7830 【Fax】072-843-4699
E-mail	sodan7830@city.hirakata.osaka.jp （問い合わせ専用）

7 大阪府中央子ども家庭センター

対象者	北河内地域にお住まいの子ども・おおむね25歳までの青少年 ※子ども:18歳未満
支援内容	子どもや家庭についての相談、おおむね25歳までの青少年についての相談を行っています。
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:45
住所	〒572-0838寝屋川市八坂町28-5
Tel/Fax	【Tel】072-828-0161 【Fax】072-828-5319

8 子ども総合相談センター 家庭児童相談担当

対象者	18歳未満の子ども、その保護者、関係者 ☆
支援内容	子どもとの接し方・親子関係・友達関係・発達・行動上の問題など、様々な相談に専門の相談員が応じます。まずは電話でご相談ください。
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:30
住所	〒573-0032枚方市岡東町12-3-410サンプラザ3号館4階 子ども総合相談センターととなり内
Tel/Fax	【Tel】050-7102-3221 【Fax】072-846-7952

9 <子どもの笑顔を守るコール> 教育委員会児童生徒支援室

対象者	幼稚園・小学校・中学校の本人、その保護者、教職員など ☆
支援内容	いじめ、友達関係、不登校に関する事など、学校生活全般についての教育相談をお受けします。
相談方法	電話相談（無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:00
住所	〒573-1159枚方市車塚1-1-1
Tel	『いじめ専用ホットライン』:072-809-7867 『教育安心ホットライン』:072-809-2975

3 枚方市地域就労支援センター（NPO法人枚方人権まちづくり協会）

対象者	枚方市在住の方（年齢不問） ☆
支援内容	働く意欲がありながら、様々な理由で仕事に就くことが出来ない方を対象に、就労に関する相談や資格取得講座・セミナーの実施などを行っています。（職業紹介は行っていません）
相談方法	面接相談（要予約・無料） 月・火・水・金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:30
住所	〒573-0032枚方市岡東町12-1-502サンプラザ1号館5階
Tel/Fax	【Tel】072-844-8788 【Fax】072-844-8799

4（特活）ひらかた市民活動支援センター

対象者	特に限定なし
支援内容	当事者の団体、当事者の支援をしている団体、居場所づくりができる団体が登録しています。これらの情報提供や紹介ができます。
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料…場合によっては有料） 月・火・木・金・土曜日 9:30～20:30 日曜日・第4火曜日 9:30～17:30
住所	〒573-0042枚方市村野西町5-1サブリ村野内
Tel/Fax	【Tel】072-805-3537 【Fax】072-805-3532
E-mail	info@hirakatanpo-c.net

10 いきいきネット相談支援センター（市内4か所）

対象者	高齢者、障害者、ひとり親家庭など支援を必要とする方とその家族の方 ☆
支援内容	福祉や地域の情報に詳しいコミュニティソーシャルワーカー（地域相談員）が、福祉に関する困り事の相談をお受けします。
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談（無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:30
1 枚方市社会福祉協議会	
北 部	地域包括支援センター社協こもれび内 【住所】〒573-1105枚方市南楠葉1-30-1-203 エクセレントビル2階 【Tel】072-856-9155 【Fax】072-856-9188
中部・南部	ラポールひらかた内 【住所】〒573-1191枚方市新町2-1-35ラポールひらかた1階 【Tel】072-807-3448 【Fax】072-845-1897
東 部	地域支援センターゆい内 【住所】〒573-0127枚方市津田元町1-9-21 【Tel】072-808-2433 【Fax】072-808-2423
2 NPO法人枚方人権まちづくり協会	
全 域	【住所】〒573-0032枚方市岡東町12-1-502サンプラザ1号館5階 【Tel】072-844-8866 【Fax】072-844-8799

11 民生委員児童委員協議会

対象者	枚方市在住の方 ☆
支援内容	「あなたの身近な相談員」として、生活福祉、高齢者、児童、障害者（児）福祉について、人に寄り添う活動をしています。
相談方法	各地域の民生委員児童委員または、主任児童委員にご相談ください。 ご不明な時は、下記までお問い合わせください。
住所	〒573-1191枚方市新町2-1-35 ラポールひらかた 枚方市社会福祉協議会 地域福祉課
Tel/Fax	【Tel】072-807-3448 【Fax】072-845-1897

12 枚方市保健所

対象者	原則18歳以上の本人、家族、関係者 ☆
支援内容	こころの病（統合失調症・うつ病・認知症・アルコール依存症などの精神疾患、ひきこもりなど）についての相談を、精神科医、ケースワーカー及び保健師が行います。
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:30
住所	〒573-0027枚方市大垣内町2-2-2 枚方市保健所 保健予防課 精神保健グループ
Tel/Fax	【Tel】072-807-7625 【Fax】072-845-0685

13 <心の健康相談> 枚方市社会福祉協議会

対象者	特に限定なし
支援内容	心の悩みや不安について、専門の相談員が相談に応じます。
相談方法	面接相談（無料） 毎週金曜日（祝日を除く）13:00～16:00 （受付時間 12:30～15:30）
住所	〒573-1191枚方市新町2-1-35 ラポールひらかた
Tel	072-841-0184

5 家族会など

不登校・ひきこもりの若者の居場所や、その家族の交流の場です。まずは電話等でお問い合わせください。

NPO法人つばさの会大阪 家族 本人	
活動内容	●親の会:毎月第3日曜日 年会費3000円、月会費1000円 ●居場所支援:毎週1回、当事者の若者が参加して勉強会やスポーツを行っています。 ●場所:いずれもサブリ村野
連絡先	〒573-0027枚方市大垣内町1-3-1マインドビル4階 【Tel】072-844-2423 【E-mail】joke@joke-jp.com
イシス大阪家族会 家族	
活動内容	●例会:毎月第2日曜日 ●会員:年会費2000円、例会500円 非会員:例会1000円（初回は無料） ●場所:メセナひらかた会館
連絡先	〒546-0024大阪市東住吉区公園南矢田1-17-7-1103 【Tel/Fax】06-6696-0967（山根）
不登校の親の会「カモミール」 家族	
活動内容	●定例会:毎月第3土曜日夜 ●会員:年会費1000円、定例会無料 非会員:定例会1回300円 ●場所:ラポールひらかた（カウンセラー随時参加）
連絡先	【Tel/Fax】072-832-5591（中谷）
登校拒否を克服する会・北河内交流会 家族	
活動内容	●交流会:偶数月第3日曜日 ●参加費:交流会1回500円 ●場所:蹠蹠生涯学習市民センター・ふらっとねやかわ
連絡先	〒573-0128枚方市津田山手1-6-4 【Tel/Fax】072-859-7756（古庄・ふるしょう）
みんなで作る学校 とれぶりんか 家族 本人	
活動内容	●ご家族、ご本人からの相談をお受けします。 ●仲間で作る様々なグループ（劇団、音楽、畑、ボランティア等）があり、体験学習を通して互いに元気になる活動を行っています。
連絡先	〒573-1146枚方市牧野阪1-22-1岡田ハイツ203 【Tel】072-826-3552 / 090-4289-5317（中川）

14 障害者相談支援センター（市内6か所）

対象者	障害者・障害児等（本人、家族、関係者）
支援内容	障害のある方の日常生活全般（福祉サービスの利用・住まい・日中活動・権利擁護など）についての相談をお受けします。必要に応じて関係機関と連携し、紹介等も行います。（相談は要予約・無料）
1 障害者相談支援センターわらしべ	
相談方法	電話相談・面接相談 月～金曜日 9:00～18:00（祝日・年末年始を除く）
連絡先	【住所】〒573-0164枚方市長尾谷町1-101-1 【Tel】072-868-1301 【Fax】072-868-3305 【E-mail】tikatu.sora@gmail.com
2 パーソナルサポートひらかた ※	
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 月～金曜日 9:00～18:00（祝日・年末年始を除く） 土曜日 9:00～17:00
連絡先	【住所】〒573-0011枚方市中宮山戸町10-12-105 【Tel】072-848-8825 【Fax】072-848-7920 【E-mail】pa-so@nifty.com
3 地域支援センターゆい ※	
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 月～金曜日 10:00～19:00（祝日・年末年始を除く）
連絡先	【住所】〒573-0127枚方市津田元町1-9-21 【Tel】072-808-2422 【Fax】072-808-2423 【E-mail】yui@hirakata-shakyo.net
4 地域生活支援センターにじ	
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 月～金曜日 9:30～17:00（祝日・年末年始を除く）
連絡先	【住所】〒573-0066枚方市伊加賀西町52-12 【Tel】090-8216-4911 【Tel/Fax】072-845-1451 【E-mail】nijij5212@ybb.ne.jp
5 相談支援センター陽だまり ※	
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 月～金曜日 9:00～18:00（祝日・年末年始を除く） 土・日曜日 13:00～18:00
連絡先	【住所】〒573-1161枚方市交北2-7-15 【Tel/Fax】072-809-0015 【E-mail】hidamari@e-sora.net
6 クロスロード	
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 水～日曜日 10:00～18:00（祝日開所。年末年始は要確認）
連絡先	【住所】〒573-0028枚方市川原町9-4第2浜田ビル 【Tel/Fax】072-843-4100 【E-mail】crossroad@s3.dion.ne.jp

※印は地域の相談拠点となる基幹相談支援センター
☆印は、枚方市民の方が対象
平成30年3月作成・第5版



枚方市 青少年サポートブック

～ひきこもり、不登校等の子ども・若者の自立に向けて～

第2版



枚方市子ども青少年部子ども総合相談センター



枚方市子ども・若者支援地域協議会設置要綱

平成30年3月30日制定
枚方市要綱 第28号

(設置)

第1条 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を包括的に支援するため、子ども・若者育成支援推進法（平成21年法律第71号。以下「法」という。）第19条第1項の規定する子ども・若者支援地域協議会として、枚方市子ども・若者支援地域協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所管事項)

第2条 協議会の所管事項（以下「所管事項」という。）は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に係る情報交換及び連絡調整を行うこと。
- (2) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に必要な体制の整備についての検討を行うこと。
- (3) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の具体的支援の内容についての協議を行うこと。
- (4) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に係る調査研究、研修並びに広報及び啓発活動を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 協議会は、次に掲げる機関等に属する者で構成する。

- (1) 枚方市産業文化部商工振興課
- (2) 枚方市保健所保健予防課
- (3) 枚方市保健所保健センター
- (4) 枚方市福祉部福祉総務課
- (5) 枚方市福祉部生活福祉室
- (6) 枚方市福祉部障害福祉室
- (7) 枚方市子ども青少年部子ども青少年政策課
- (8) 枚方市子ども青少年部子ども総合相談センター
- (9) 枚方市教育委員会事務局学校教育部児童生徒支援室
- (10) 枚方公共職業安定所
- (11) 大阪府中央子ども家庭センター
- (12) 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター
- (13) 一般社団法人枚方市医師会
- (14) 枚方市民生委員児童委員協議会

- (15) 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会
- (16) 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会
- (17) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める機関等
(子ども・若者支援調整機関)

第4条 法第21条第1項に規定する子ども・若者支援調整機関は、枚方市子ども青少年部子ども総合相談センターとする。

(守秘義務)

第5条 協議会を構成する者及び構成していた者は、正当な理由なしに、当該会議（所管事項の遂行に伴う活動を含む。）を通じて知り得た秘密を漏らしてはならない。

(補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、制定の日から施行する。
- 2 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議設置要綱（平成24年枚方市要綱第64号）は、廃止する。



ひきこもり等子ども・若者相談支援センター
枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議
平成 29 年度の活動報告

平成 30 年 12 月発行

枚方市 子ども青少年部

子ども総合相談センター **となとな**

枚方市岡東町 1 2 - 3 - 4 1 0 サンプラザ 3 号館 4 階

TEL: 050-7102-3228 (直通)

072-843-2255

(ひきこもり等子ども・若者相談支援センター)

FAX: 072-846-7952

e-mail: kodomocenter@city.hirakata.osaka.jp

